

平成26年度第1回青森市指定管理者選定評価委員会（会議概要）

- 1 対象施設 (仮称) 青森市小牧野遺跡保護センター、
(仮称) 青森市小牧野遺跡観察施設
- 2 開催日時 平成26年4月25日(金) 10:30～11:15
- 3 開催場所 青森市役所第2庁舎2階庁議室
- 4 出席者
 - (1) 選定評価委員 委員長 相馬 紳一郎(市民政策部次長)
委員 館田 一弥(財務部理事次長事務取扱)
委員 永澤 保弘(農林水産部次長)
委員 米谷 智(都市整備部次長)
委員 池田 享誉(青森公立大学准教授)
委員 西村 晴夫(東北税理士会青森支部税理士)
 - (2) 施設所管課(事務局) 文化財課 課長 白取 慎也
文化財主査 児玉 大成
主事 笹田 貴子
 - (3) 制度所管課 政策推進課 主幹 福島 清裕
主事 小野 寛史
- 5 欠席者 鈴木 裕司 副委員長(総務部理事次長事務取扱)
- 6 議題 指定管理者制度導入の適否に係る審査
- 7 会議概要

配付資料に基づき、事務局(文化財課)から、施設概要や指定管理者制度導入の検証内容等を説明。募集については、指定期間は約5年間、利用料金制は導入せず、募集形態は公募とすることを説明。

(1) 審議結果

募集内容等については、全委員異議なく全会一致で以下のとおり了承された。

- ①指定期間：約5年間
- ②利用料金制：なし
- ③募集形態：公募

(2) 主な質疑内容

委員：廃校となった小学校を改修するということだが、いつ頃完成するのか。工事中の施設の場合、応募希望団体が見学できなければ施設のイメージを持つことが難しいと思われるが、そのことで応募に至らないということは懸念されないか。

事務局：校舎そのものの改築工事は平成27年1月までに終える予定である。また、展示作業は改築工事終了後、平成27年1月から3月にかけて行う。

- 委員：小牧野遺跡の目玉は何か。
- 事務局：約4,000年前のストーンサークルである。小牧野遺跡では実物を見ることができるが、この露出展示は全国的にも非常に珍しいものである。
- 委員：管理棟を建てる部分については、掘削等を行う必要があるのではないかな。そのことで工期が遅れることはないかな。
- 事務局：すでに試掘調査を行っており、問題はない。管理棟は盛土をした上に建設する。
- 委員：管理棟の建設場所が山であることから、降雪の影響についても考える必要があると思うが、建物の雪囲い等も指定管理者が行うのかな。
- 事務局：雪囲いも指定管理者が行う。
- 委員：両施設は日曜日にも開館するのかな。
- 事務局：日曜日にも開館する。
- 委員：遺跡や保護センターには考古学の専門ガイドが常駐するのかな。ある程度遺跡に詳しい方でないと、対応が難しいのではないかな。
- 事務局：学芸員の配置は想定していないが、遺跡について一定の知識のある者が対応する。一方で、遺物の取扱いについては、市の専門職員が対応する。現在、遺跡は見学可能だが、ガイドは常駐していない。団体等からの依頼があれば、市職員若しくはボランティアが対応している。
- 委員：遺跡に関する専門的な施設だと思うが、指定管理者には何を期待するのかな。
- 事務局：イベントや体験学習を実施してもらうことで、遺跡や施設見学のリピーター増加につながり、遺跡の保護についても理解が深まるのではないかと考えている。
- 委員：遺跡や施設のPRについては、指定管理者が全て行うのかな。
- 事務局：基本的には指定管理者が行うが、例えば、学校関係については教育委員会とも連携しながらPR活動を行っていく。
- 委員：遺跡について、市内で指定管理者制度を導入しているところはあるかな。
- 事務局：市内、県内ではない。三内丸山遺跡の体験部門については、県から委託された団体が実施している。
- 委員：保護センターと管理棟の距離が少し離れているが、車でしか移動できないのかな。
- 事務局：散策路を使って徒歩での移動も可能である。
- 委員：遺跡に車で行く場合、途中で案内板等はあるのかな。
- 事務局：経路途中の電柱に案内看板を設置しているが、今年度は幾つか看板を増やしたいと考えている。
- 委員：指定管理者の募集に当たっては、遺跡についての専門的な知識等が必要だということを、応募要項に盛り込む必要があると考えられることから、

遺跡の管理運営等に指定管理者制度を導入している他の自治体があれば、参考にするとういのではないか。